

【概要説明資料】国（内閣府）と県の浸水想定の違い

国（内閣府）

岩手県

目的

特措法※1に関連し、被害想定や防災対策の検討を進めることを目的として、**日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの断層モデル**の検討結果や津波高、浸水域等の推計・公表を行う。

※1 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法

法律※2に基づき、避難対策等の検討に資することを目的として、**日本海溝・千島海溝沿いの最大クラス**の断層モデルに加え、**過去に県内で発生した最大クラスの津波も対象とした浸水想定**の設定・公表を行う。

※2 津波防災地域づくりに関する法律

津波シミュレーション

推計した震度分布・津波高・浸水域は、**広範囲に及ぶ領域での全体を捉えた防災対策の参考**とするための推計。

地域の避難対策等の参考とするため、より詳細なメッシュで検討を行うなど、**復興まちづくりを踏まえた地形条件による詳細な推計**。

日本海溝 千島海溝

※岩手県分は日本海溝が対象（令和2年9月11日公表）

①断層モデル

日本海溝 千島海溝

東北地方太平洋沖

明治三陸

昭和三陸

過去に県内で発生した最大クラスの津波も検討対象に追加

平成29年度（海域は平成16年度）時点の計画条件
（施設完成後と想定）

②地形データ

令和2年度末時点の現場条件（現場の進捗状況を反映）

最小10mメッシュ

③計算メッシュ

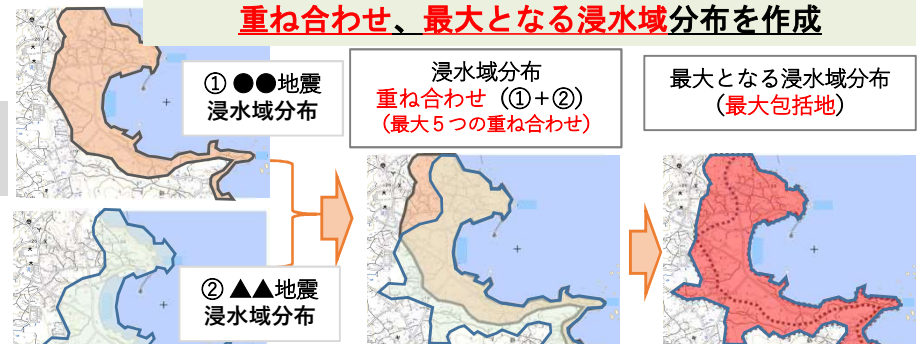
最小5mメッシュ（9千万メッシュ）

日本海溝・千島海溝モデル
浸水域分布（イメージ図）



④浸水域のイメージ

複数の断層モデルでシミュレーションした浸水域を重ね合わせ、**最大となる浸水域分布を作成**



24地域海岸ごとに最大クラスの津波となる断層モデルで作成

アウトプット

- 日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラスの地震・津波による**人的・物的・経済的被害の想定**
- これら想定される被害を軽減するための**防災対策** など

○ **最大クラスの津波を包括した津波浸水想定**の公表（今回）

市町村

- ・ **避難対策等の見直し** 等
- ・ 津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画（推進計画）の作成 [任意]

【概要説明資料】 主な計算条件

(1) 内閣府と県の主な計算条件

		内閣府	岩手県
潮位		朔望平均満潮位	
粗度		相当粗度	
最小計算格子間隔		10m	5m
地形データ	陸域	平成29年度	令和2年度末時点
	海域	平成16年度	
地震による構造物の沈下		なし	あり
津波越流時における構造物破堤の有無	防潮堤	あり	
	道路 鉄道盛土 二線堤	なし	あり

(2) 対象となる最大クラスの地震

各地域海岸において、最大となりうる地震は以下のとおり。
対象箇所のシミュレーションを実施したもの。

地域海岸	最大クラスの津波を発生させる地震				
	明治三陸地震	昭和三陸地震	東北地方太平洋沖地震	日本海溝(三陸・日高沖)地震	千島海溝(十勝・根室沖)地震
1 洋野～久慈北海岸	●		●	●	●
2 久慈湾	●		●	●	●
3 久慈南海岸	●		●	●	●
4 野田湾	●		●	●	●
5 普代海岸	●		●	●	
6 田野畑海岸	●		●	●	
7 岩泉海岸	●		●	●	
8 田老海岸	●		●	●	
9 宮古湾			●	●	●
10 重茂海岸			●	●	
11 山田湾			●	●	
12 船越湾			●	●	
13 大槌湾			●	●	
14 両石湾	●		●	●	
15 釜石湾			●	●	●
16 唐丹湾	●		●	●	
17 吉浜湾	●	●	●	●	●
18 越喜来湾	●		●	●	
19 綾里湾	●	●	●	●	●
20 大船渡湾外洋	●		●	●	
21 大船渡湾			●	●	
22 大野湾	●		●	●	
23 広田湾外洋		●	●	●	
24 広田湾			●	●	

※ 朱書き箇所は概ね最大浸水深及び最大浸水範囲となる地震を示す。